

東海大学沼津校舎跡地活用事業者の公募結果について

沼津市では、平成 29 年 3 月末に学校法人東海大学より東海大学沼津校舎跡地の土地及び建物等の寄附を受け、民間事業者による有効活用を図るため、公募売却により「地域振興に資する研究開発施設等」の立地を図ることを目的とした、提案型の事業者の募集を行いました。

このたび、5 月 26 日（金）に事業者選定委員会を開催し、選定結果を踏まえ次のとおり優先交渉権者を決定いたしました。

1 優先交渉権者

所在地 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号
法人名 SMC株式会社
代表者 代表取締役社長 丸山 勝徳

2 活用予定地

対象地	所在	登記地目	概算地積
物件番号 1	沼津市西野字霞 317-1 外の内	学校用地	約 5,600 m ²

3 応募の経過

平成 29 年 3 月 27 日に物件番号 1 及び物件番号 2 を対象地として東海大学沼津校舎跡地公募売却に係る募集要項を公表し、5 月 1 日から 5 月 19 日までの間、提案書類を受け付けた。

期限までに、1 社から物件番号 1 を活用する提案書類の提出があり、物件番号 2 を活用する提案はなされなかった。

4 事業者の選定について

(1) 選定委員名簿（敬称略）

氏名	所属・役職等
中山 勝	（一財）企業経営研究所 常務理事
久松 但	久松但公認会計士事務所 公認会計士
大村 保二	沼津市商工会 会長
後藤 克裕	沼津市 企画部長
光林 治	沼津市 産業振興部長

(2) 選定委員会の開催日

平成 29 年 5 月 26 日（金）

(3) 審査基準

募集要項の審査基準に基づき、各委員による採点を実施。委員一人当たりの評価点（100 点）に採点した委員の人数を乗じた点数の 6 割を最低基準点とした。

(4) 採点結果

SMC 株式会社 421 点

(5) 審査講評

グローバルな事業展開がなされている優良企業が沼津に進出することは、沼津のブランド価値向上に繋がるものである。

まずは研究開発拠点が沼津に進出することで、今後の更なる地域振興に繋がる事業展開も期待できる企業である。

5 優先交渉権者の提案概要

SMC 株式会社は、自動制御機器製品の研究開発、製造加工及び販売までを一貫して行っている。

産業界のオートメーション設備が日々高度化する中で、産業界のニーズに対応していくためには次世代製品の研究開発を継続して実施していく必要があることから、中核的な開発拠点である筑波技術センターの一翼を担う施設として、新たに（仮称）沼津技術センターを整備する。

グローバルに事業展開を行っており、海外企業の開発担当者等の沼津への来訪も見込まれることから、沼津の知名度向上や、地域での人材雇用等による地域振興に貢献したい。